# 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

## 1. 基本情報

■事業の担当課	教育委員会生涯学習文化課			■担当係	芸術文化係		
■評価事業名称	利根山光人記念美術館企画事業						
■評価事業コード	400300 - 0	100300 - 081 ■会計区分 一般会計					
■総合計画での ■位 置 づ け	■政策	02 生きる力を育み、文化が躍動するまちづくり					
	■基本施策	策 04 芸術文化の振興・国際交流の推進					
	■施策	01 芸術文化活動の推進					
■事業の類型	05 ソフト事業(任意) ■政策・業務区分 政策				政策		
■法令の根拠区分	法令に特に定めのないもの						
■法令等の名称							
■関連計画の名称							
■事 業 の 目的と概要	事業の 目的と概要 利根山光人記念美術館が北上市民に身近な存在となり入場者が増加する。企画展「利 根山光人情感に訴えるデッサンカ」(4月から8月まで)、企画展「伊東才紀展」(9月から11月まで)、子どもアートスクール 12月						

## 2. 細事業の活動実績情報

細事業 細事業 コード 名称	事業の対象	平成 24 年度事業計画	平成 24 年度事業量実績
01 利根山光人 記念美術館 企画事業	一般		入場者数599人 子どもアートスクール参加者数25人

## 3. 投入コスト情報 (単位:千円)

	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	備考
直接事業費	101	220	200	172	
人 件 費	405	2,776	1,458	2,608	
その他(公債費・減価償却費等)					
フルコスト	506	2,996	1,658	2,780	

#### 4. 評価指標等の状況

指コ・	は標 指標名	21年度	22年度	23年度	24年度	指標の説明	
01	企画展開催回数	1回	2回	3回	2回	前期6-8月阿部輝雄展、後 期9-11月吉田守夫展	
02	チラシ作成枚数(PR活動)	3000	4000	6300	5500	企画展のPRとともに、記念 美術館の周知を図る。2,000	
						部×2回	
03	利根山美術館来館者数	838	1,198人	857人	599人	延べ来館者数の単純集計	
	-				-		

#### 事務事業事後評価シート[平成24年度事業]

04 企画展1回当りコスト 506千円 1.498千円 553千円 1.390千円 経費/回 5. 事後評価(「政策」事業類型5・6のみ) 達成状況の分析 問題点•課題等 ■目標達成状況 地元の画家の作品を企画展に取り入れることに 専門の学芸員がいないこと。 よって市民の関心を得ることができた。 ○ A. 順調 ● B. 概ね順調 ○ C. 遅れている -1. 直接的な受益者の範囲 --2. 事業廃止の影響 --3. 国・県・民間との競合関係の有無 -● 不特定多数に及ぶ ○ 大きな不利益やリスクが生じる ○ 類似の事業はない ○ 特定されるが多数に及ぶ ● 類似の事業はあるが競合はない ● ある程度の不利益やリスクが生じる ○ 特定少数に限定される ○ 不利益やリスクは小さい ○ 類似の事業があり競合する -4. 事業へのニーズの変化 -5. 施策の改善需要度(市民意識調査) -一6. 施策の優先度(市民意識調査) ○ ニーズが高まっている ○ 順位が高い ○ 順位が高い (●) ニーズは変わらない ( 順位が中程度 ( 順位が中程度 ○ ニーズが低下している又は合致しない ● 順位が低い ● 順位が低い -7. 他市町村に比較しての優位性 -8. 実施主体の代替性 -9. 経済性・効率性の向上 ○ 先進的またはユニークな事業である ● 民間委託等の拡充は難しい ○ 今以上の効率化や改善は難しい ● 他と同程度の事業である ○ 民間委託等の拡充が十分に可能 ⊚ 効率化や改善を図ることは十分に可能 ○ 全部委託や実施主体の移行が可能 ○ 遅れている事業である ○ 効率化や改善の余地が大きい 補足説明 ■今後の方向性 ○ I. 拡充 ○ Ⅳ. 民間活用・協働事業化 ● Ⅱ. 継続 ○ V. 廃止・休止

○ Ⅲ. 縮小•要改善

○ Ⅵ. 完了